

道徳科学習指導案

- 1 日時 令和元年10月11日(金) 第2校時(9:50~10:35)
- 2 学年 第2学年 6名(男子4名, 女子2名 合計6名)
- 3 主題名 「正しいと思うことを」(内容項目A(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
- 4 ねらい まり子さんの心が曇っていたときと, 心が晴れてきたときを比べることで, 正しいと思うことを行うことよさに気づき, 進んで行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- 5 資料名 「ある日のくつばこで」 出典(小学どうとく生きる力2: 日本文教出版)

6 主題設定の理由

- 本主題は, 内容項目A(1)「よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。」を基に設定したものである。

人として行ってよいこと, 社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり, 判断したりする力は, 児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。それとともに, より積極的に健康的な自己像を描くことができるようにすることが大切である。よいこと, 正しいことについて, 人に左右されることなく, 自ら正しいと信じることに従って, 誠実かつ謙虚に行動することは, 人として重要なことである。特に, 価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を培うために, よいことと悪いこととの区別が的確にできるようにならなければならない。よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせるなどして, 小さなことでも遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てる指導を充実していくことが重要である。

低学年の段階においては, 何事にも興味, 関心を示し意欲的に行動することが多い反面, まだ集団生活に十分に慣れていないために, 引っ込み思案になったり, 物おじしたりすることのある発達段階である。そこで, よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちに気付かせることにより, 「自分が正しい」と思ったことを誰に対しても遠慮しないで進んで行うことができる意欲と道徳的態度を育むことをねらいとして本主題を設定した。

- 本学級の児童は, 「正しいと思ったこと」を言うことが大切だということは分かっている。普段から, 友達同士や1年生に注意する姿も見られる。しかし, 誰に対しても「正しいと思ったこと」を言えているわけではない。特に年上の人を相手にすると言えなくなる場面も見受けられる。事前に行った意識調査の結果は次の通りである。(実施6名 7月22日)

質問項目	肯定的回答	否定的回答
今まで, 勇気を出して自分が正しいと思ったことを言えたのはどんな時ですか。	66% (4人) ・お兄ちゃんに注意した。 ・遊んでいるときに年上の人が, 譲ってくれなかった時に, 言いにくかったけど言った。 ・下校中「遊んではいけない。」と年上に注意した。 ・年上の人が外でゴミを捨てていたから注意した。	33% (2人) 回答なし
「正しいと思ったこと」を言うことは大切だと思いますか。	100% (6人)	
それはなぜですか。	・言われた人が次から正しいことができるから。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・言われた人が自分の間違いに気付くことができるから。 ・大事なことを言っているから。 ・まあまあに○した理由は、言ったら、逆に責められるかもしれないから。
--	---

このことから、「正しいと思ったこと」を言うことは大切だと全ての児童が感じているが、実際には恥ずかしがったり、相手によって行動を変えたりして「正しいと思ったこと」を誰に対しても言うことができる児童は少ない。そこで、教材を通して勇気を出したまり子さんの気持ちを考えさせ、正しいことをしたら明るい気持ちになれることや、正しいことをすることは気持ちがよいことに気付かせたい。その中で、「自分が正しいと思ったこと」を誰に対しても、遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てたい。

- 本教材は、まり子ととしおが、かずみが靴隠しをするところを偶然見かけてしまい、かずみは2人に口止めをして去っていくが、としおは靴を元に戻し、目撃者のまり子は、授業中も靴を隠したことを注意しようか悶々として悩み苦しむが勇気を出そうと決心するという内容である。おかしいと思ったことをその場で言えなかったという点では、児童にとっても身近な問題として捉えることができる教材であり、次のように指導していく。

導入では、本時のテーマである「自分が正しいと思うことをする」ことについて考えることを提示し、学習の見通しをもたせる。

展開では、靴を隠す瞬間を目撃したまり子さんやかずみさんに「だれにも言わないでね。」と言われたまり子さんの気持ちを考えさせ、まり子さんの迷いを具体的に捉えさせることで、まり子さんの迷いがより明確になり、児童の考えが深まるようにする。

中心発問では、「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきたわけを考えさせ、正しいと思うことに向かうときは、心が明るくなることに気付かせていく。切り返す補助発問や自分事として考えさせる補助発問などを複数準備し、児童の反応に応じて投げかけることで、対話を通して児童の思考や認識を深めていく。また、「自分が正しいと思ったこと」をすることのよさという、価値そのものについて考えることを通して、道徳的価値についての自覚を深めさせる。

振り返りでは、学習を通して新たに気付いたことや友達の意見を聞いて気付いたことなどを書かせ、学びを深めさせていく。

7 大会主題【ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～】との関連

少人数で発表できる場面が多いという良さを生かし、児童一人一人が自分の思いや考えを表現する場を十分に確保する。こうして、自分事として考えたり自分と友達の考えを聞いて理解したりする機会を充実させ、協同的に学びを深める学習を重ねることで、自らの生き方を考え、未来を切り拓く児童の育成を目指していく。

8 研究主題【主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成～道徳科における児童の思考を促す発問の工夫を通して～】との関連

中心発問	補助発問	
「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきたのはどうしてでしょう。	○ 誰かに言ったらかずみさんに嫌われるかもしれないよ。	【切り返す】
	○ お母さんの言葉はどんな意味だろう。	【切り返す】
	○ このあとまり子さんは、何をしたいと思いますか。みんなだったらどうしますか。	【自分事として考えさせる】

9 準備物

資料場面絵, ワークシート

10 学習展開

	学習活動	主な発問と児童の心の動き (主な発問(○) 中心発問(◎) 予想される児童の反応(・))	指導上の留意事項と評価 (留意事項(◇)評価(・)評価方法)
導 入	1 本時の学習の見通しをもつ。	○ 今日は、「自分が正しいと思うことをすることについて考えていきましょう。」	◇ 学習の見通しをもたせる。
展 開	2 教材を読んで話し合う。 ① 靴を隠す瞬間を目撃したまり子さん、「だれにも言わないでね。」と言われたまり子さんがどんなことを考えていたか考える。 ② 「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきた理由を考える。	○ かずみさんが靴を隠す瞬間をみたまり子さんは、どんなことを思ったでしょうか。 ・あ！悪いことをしている。 ○ 「だれにも言わないでね。」と言われたまり子さんはどんなことを思ったでしょうか。 ・かずみさんに嫌われるから黙っておこう。 ・「だめだよ。」とちゃんと言おう。 ・くみ子さんが知ったら嫌な気持ちになるな。 ○ 靴を靴箱に戻したのに、なぜまり子さんは心が曇っているのでしょうか。 ・どうしたらいいか悩んでいるから。 ・「靴隠しなんてだめ。」と言っていないから。 ・正しいと思うことができていないから。 ◎ 「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきたのはどうしてでしょう。 ・やることが決まったから。 ・授業に集中できるから。 ・かずみさんと仲直りできるから。 ・心のもやもやがすっきりしたから。 ・正しいことをしようと決めたから。	◇ 悪い行いを見た瞬間のまり子さんの気持ちを捉えさせる。 ◇ まり子さんの迷いを具体的に捉えさせる。 ◇ としおさんの靴を元に戻すという行動が、問題の根本的解決になっていないことに気付かせる。 教材との対話 ◇ 心の晴れと曇りを対比して板書し、正しいと思うことに向かうと、心が明るくなることに気付かせる。 ◇ 正しいことをすることの大切さについて、多様な価値との関連で考えさせる。 ◇ ワークシートを活用し、自分の考えを明らかにさせる。 ・ 自分が正しいと判断したことを行うことの大切さやそのよさに気付いている。 (発言・ワークシート)

	<p>【補】誰かに言ったらかずみさんに嫌われるかもしれないよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌われたくない。 ・それでも言う。 ・正しいと思ったことをしないといけない。 ・かずみさんに正しいことをしてほしい。 <p>【補】お母さんの言葉はどんな意味だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勇気を出さないとできないくらい難しいこと。 <p>【補】このあとまり子さんは、何をしたいと思いますか。みんなだったらどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かずみさんに注意する。 ・かずみさんの嫌な気持ちを聞いてあげる。 ・くみこさんに教える。 ・先生に言う。 	<p>【切り返す】 考えを揺さぶることで、人間の弱さに気付かせる。</p> <p>【切り返す】 母親の言葉の意味を確認することで、「自分が正しいと思ったこと」を行うことの難しさに気付かせる。</p> <p>【自分事として考えさせる】 この話の続きのまり子さんの行動を考えさせることで、「自分が正しいと思ったこと」を言うことの大切さやそのよさに気付かせる。</p> <p>◇ ペアトークの場を設定し、お互いに考えを伝え合い、理由を尋ね合うようにする。</p> <p>子供同士の対話</p>
<p>3 「自分が正しいと思うことをする。」ことの大切さについて考える。</p> <p>○ 教師の体験談を聞く。</p>	<p>○ 「自分が正しいと思うことする。」ことはなぜ大切なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちがすっきりする。 ・間違いを教えることができる。 	<p>◇ 自分が正しいと判断したことを行えた体験を話し、生活に繋がるようにする。</p> <p>◇ 児童から出た「子供語」を使ってまとめる。</p> <p>◇ 全員が発表をして交流することで、自分が正しいと思うことをするよさや価値について考えを深めることができるようにする。</p>
<p>振り返り</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 新たに学んだことや友達の意見をから気付いたこと、思ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分が正しいと思ったこと」をするのは勇気があるけど頑張りたい。 ・正しいことをすると気持ちがいい。 	<p>◇ ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について新たに発見したことなど自分の考えをまとめさせる。</p> <p>自己との対話</p>

11 板書計画

正しいと思うこと
ある日のくつばい

場面絵

お母さんの言葉
「正しいことが
ゆうきが ある
人なのよ。」

できる 人が、いちばん

「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が
晴れてきたのはどうしてでしょう。

場面絵

心がくもっている まり子さん

・どうしたらいいか悩んでいるから。
・「靴隠しなんてため。」と言えていないから。
・自分が正しいと思うことができていないから。

場面絵

・言ったらかずみさんに嫌われるから
黙っておこう。
・「だめだよ。」とちゃんと言おう。
・くみさんが知ったら嫌な気持ちになるだろうな。

○このあとまり子さんは、何をすると思いますか。
・かずみさんに注意する。
・くみさんに教える。
・先生に言う。

○自分が正しいと思うことをすると・・・
・気持ちがあすつきりする。
・間違いを教えることができる。

12 ワークシート

ある日のくつばい

名前 () ()

○ 今日の学しゅうで学んだことや考えたことを書きましょう。



○ 「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきたのはどうしてでしょう。

○ 今日の学しゅうで学んだことや考えたことを書きましょう。

13 教材分析

	子供の思考の流れ	主	対
導入 課題設定がある場合も (学習の構えを持つ)	・「自分が正しいと思うことをする」とはどういうことだろう。	○	
教材を知る (登場人物の状況と心情の確認)	・まり子さんは、この後どうするのだろう。	○	
問題場面の確認：課題意識を持つ (課題の焦点化) ◎ 「ゆう気を出そう。」と決心したまり子さんの心が晴れてきたのはどうしてでしょう。共		○	
個としての考えをもつ (登場人物への自我関与) ※ワークシートへの記入	・やることが決まったから。 ・授業に集中できるから。 ・かずみさんと仲直りできるから。	●	
他者の考えとの出会い (自分の考えとの共通点と相違点) ※意見の交流	・心のもやもやがすっきりしたから。 ・正しいことをしようと決めたから。		●
よりよい生き方に向けた議論 (多面的・多角的視点の獲得) 【補】誰かに言ったらかずみさんに嫌われるかもしれないよ。 【補】お母さんの言葉はどんな意味だろう。 【補】このあとまり子さんは、何をすると思いますか。みなさんだったらどうしますか。	・嫌われたくない。 ・それでも言う。 ・正しいと思ったことをしないといけない。 ・かずみさんに正しいことをしてほしいから言う。 ・勇気を出さないとできないくらい難しいこと。 ・かずみさんに注意する。 ・かずみさんの嫌な気持ちを聞いてあげる。 ・くみこさんに教える。 ・先生に言う。		●
学級としてのゴール (課題の解決) ○ 正しいと思うことをすることは、なぜ大切なのでしょう。分	・気持ちがすっきりする。 ・間違いを教えることができる。		●
子供が自分の言葉で価値を再定義する (新たな自己の生き方への思い)	・正しいことをしたら明るい気持ちになれる。 ・正しいことをすることは気持ちがよいことだ。	●	
終末 (新たな学びをじっくりと受けとめる) ※振り返り	・「自分が正しいと思ったこと」をするのは勇気があるけど頑張りたい。 ・正しいことをすると気持ちがいい。	○	

<発問の立ち位置・4区分> (東京学芸大学 永田繁雄教授)

共:「共感的」な発問, 分:「分析的」な発問, 投:「投影的」な発問, 批:「批判的」な発問